＜聴く編＞ 8.18 土 13:30～16:30（受付開始13:00）

報 告
13:40~14:30

「大学生×障がい者支援施設×地域」
ー日本遺産滋賀・びわ湖フィールドサーヴェイプロジェクト2017の試みからー

馬場晋作（成安造形大学芸術学部准教授・美術家）・石川亮（成安造形大学芸術学部准教授・美術家）
森太三（美術作家）
石野大助（信楽青年寮支援員）
上井彩希・内田弓葉（成安造形大学芸術学部学生）

報 告
14:40~15:10

「美術の視点から社会をゆらす　ー熊川宿若狭美術館ー」

長谷光城（熊川宿若狭美術館館長）

トーク
セッション
15:20~16:20

「ワークとライフのよりよい関係とは？」

馬場晋作（成安造形大学芸術学部准教授・美術家）
石川亮（成安造形大学芸術学部准教授・美術家）
森太三（美術作家）
石野大助（信楽青年寮支援員）
長谷光城（熊川宿若狭美術館館長）
荒川裕子（福井芸術・文化フォーラム事務局・アートマネージャー）

進行：三脇康生（仁愛大学心理学科教授・精神科医）

■終了後はドリンクを飲みながら
　会場にいる皆さんと自由に交流ください

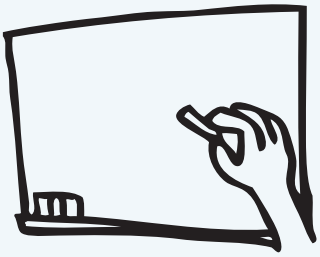
＜話す編＞ 8.19 日 13:30～16:30（受付開始13:00）

てつがくカフェ「働く」とは何か？

仕事と生活。私たちは生きるために働きお金を稼ぎ生活をする。社会は働くことの対価によってうまれる生活の集合体であり、働くことが前提で社会が構築されている。最近よく耳にする「ワークライフバランス」という言葉。仕事と生活の調和を意味する。仕事と生活の相乗効果は経済も人も豊かにするのである。しかしながら働くことは人間にとって必須なのでしょうか。人手不足が深刻化し一億総活躍がますます求められていく中、働くことの意味をじっくり皆さんと対話していきたいと思います。

荒川裕子（福井芸術・文化フォーラム事務局・アートマネージャー）

ファシリテーター：西村 高宏（福井大学医学部 医学教育・倫理学分野）
ファシリテーション・グラフィック：近田 真美子（福井医療大学 保健医療学部）



三脇康生
Yasuo MIWAKI

仁愛大学心理学科教授・精神科医
京都大学文学部（美学美術史）卒業、同大学医学部卒業、パリ第一大学科学哲学科DEA課程卒業、京都大学医学研究科博士課程卒業。精神科医として勤務し、芸大非常勤講師を務めつつ美術展覧会の企画に参加し作品を批評してきた。フランスと日本の精神医療を比較検討し精神医療の考察を行っている。

森　太三
Taizo MORI

美術作家
1974年大阪生まれ。1999年京都精華大学大学院美術研究科修了。1996年の初個展以降、個人の身体感覚によって生みだした小さなカタチを集積させて、展示空間内に架空の風景を表出させる作品を発表。みずのきアトリエ講師、みずのき美術館設営スタッフ、京都精華大学・京都造形芸術大学・成安造形大学非常勤講師。

長谷光城
Mitsushiro NAGATANI

熊川宿若狭美術館館長
多摩美術大学卒業。現代美術作家として活動する傍ら、福井県内小・中、高校の美術教諭、校長を経て、「若狭ものづくり美学舎」を開学。2010年、障がい者や特別な支援を必要とする人の公募アート展「きらりアート展」創設。NPO法人若狭美&Bネット理事長。

西村高宏
Takahiro NISHIMURA

福井大学医学部准教授
専門は臨床哲学。〈対話〉という営みをとおして、哲学的な知の社会的接続の可能性を問い直すことが現在の主な研究テーマ。様々な職業従事者と連携し、医療や教育、科学技術、政治、アートなどのうちに潜む哲学的な諸問題を読み解く活動を行なっている。現在、てつがくカフェ「医療とケアを問い直す」を企画運営している。

近田真美子
Mamiko KONDA

福井医療大学保健医療学部准教授
日本赤十字広島看護大学、北海道医療大学大学院博士前期課程修了。大阪大学大学院博士後期課程に在籍中。浦河赤十字病院の精神科をはじめ外科病棟やICU病棟で働いてきた。西村とともに、てつがくカフェのスタッフとしてファシリテーション・グラフィックを担当している。

石野大助
Daisuke ISHINO

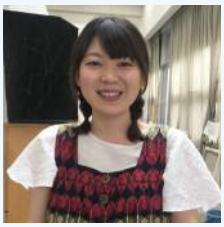
信楽青年寮支援員
1965年滋賀県生まれ。地元信楽町で生まれ育ち、小さな時から陶器に親しんできた。陶磁器釉薬製造会社勤務を経て、2000年より信楽青年寮に勤務する。2001年より日中活動支援員を務め、陶器班を担当する。2012年より展覧会担当を兼務する。

石川亮
Ryo ISHIKAWA

成安造形大学芸術学部准教授・美術家
1995年京都精華大学美術学部（現芸術学部）卒業、現在、成安造形大学附属近江学研究所研究員。宗教観と自然観を生活の中に取り込み、自然と対峙しながらも共存してきた日本人の感覚に注目している。アートディレクターとしても活動。

馬場晋作
Shinsaku BABA

成安造形大学芸術学部准教授・美術家
1978年京都生まれ。2011年京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期)課程修了。他者とのゆらぎある関係の中で現れる曖昧な個人やものの見え方に着目し研究、活動する。2012年「自然学」(滋賀県立近代美術館)など、関西を中心に作品を発表。



上井彩希
Saki UEI

内田弓葉
Yumiha UCHIDA

成安造形大学芸術学部学生
日本遺産滋賀・びわ湖フィールドサーヴェイプロジェクト2017に学生クリエイターとして参加。